



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

●本製品の組立て後の製品重量は、障子1枚あたり最大で60kgになります。対応する人数で取付けおよび建込みを行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

取付け上のおお願い

●本製品は合わせガラスや複層ガラス使用の場合などはかなりの重量がかかります。下枠が下がらないよう、あらかじめ下枠裏側にモルタルを充てんしてください。

●枠は必ず指定のスクリーナ釘・木ねじで固定し、下枠のモルタルが固まったことを確認してから障子を建込んでください。

●開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●取付け前には、必ず開口部の水平、垂直および枠の出来寸法を確認してください。(枠の出来寸法はカタログを参照ください。)
「気密・断熱性能の低下」、「障子の開閉が重くなる」、「鍵が掛からなくなる」といった原因になります。

【正常】

引戸枠

【3】枠の対角方向の確認

●枠の対角方向の寸法(A1・A2)を同じにしてください。錠が掛からなくなったり、戸先にすき間があいたりします。
※A1とA2の差が3mm以内になるように調整してください。

【1】枠のH方向の確認

●枠のH方向の寸法(H1・H2・H3)を同じにしてください。錠が掛かりにくくなったり、障子の建付け調整ができなくなります。
※最大値と最小値の差が2mm以内になるように調整してください。

【4】枠の内外方向(倒れ)の確認

●枠が内外方向に倒れないようにしてください。障子の開閉が重くなる場合があります。
※B1もしくはB2が2mm以内になるように調整してください。又、枠の左右が室内外別々の方向に倒れないようにしてください。

【2】枠のW方向の確認

●枠のW方向の寸法(W1・W2・W3)を同じにしてください。錠の位置が合わなくなります。
※最大値と最小値の差が2mm以内になるように調整してください。

【5】枠のねじれの確認

●枠の左右の出入り位置を合わせてください。C寸法が規定値を超えると、障子の建付け調整ができなくなったり、開閉が重くなる場合があります。
※Cが2mm以内になるように調整してください。

【傾き状態】

【太鼓状態】 【つづみ状態】

【倒れ状態】

【太鼓状態】 【つづみ状態】

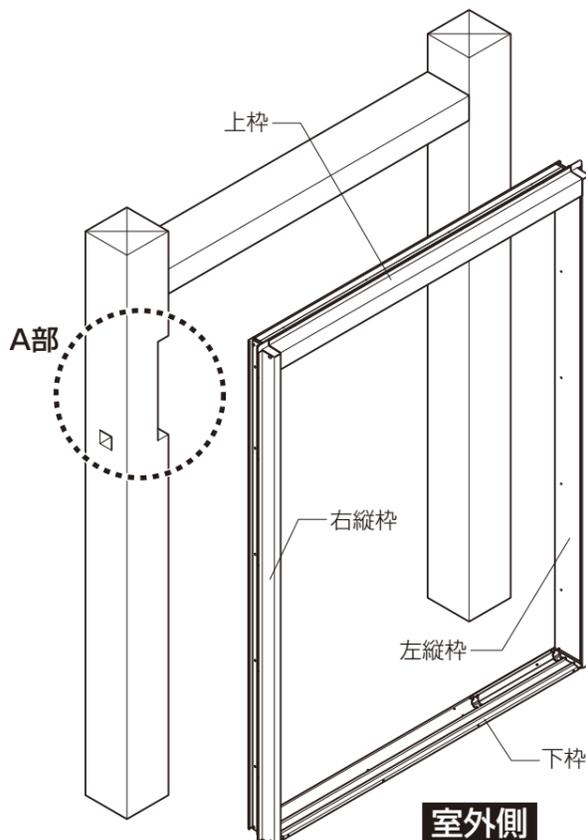
【ねじれ状態】

ねじ一覧表

	①
スクリーナ釘φ2.1×32	
	②
皿木ねじφ3.8×4	
	③
穴塞ぎシールφ13	

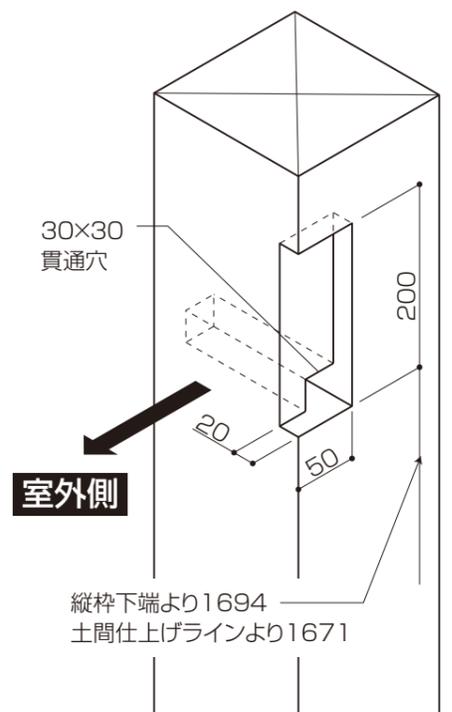
配線引出し部木加工図(電気錠仕様時のみ)

●電気錠仕様の場合は、柱に加工をしてください。枠を取付けるときは、枠についている配線を柱の加工穴に通してから取付けてください。



A部詳細図

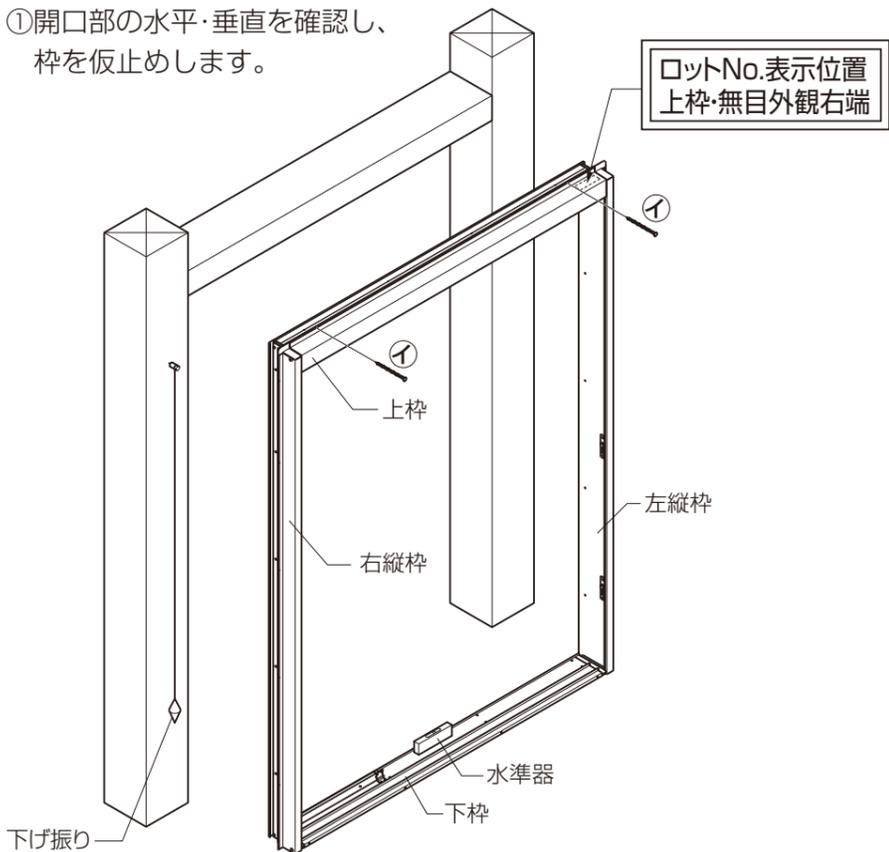
※本図は外観左側に電気錠システムが取付く場合の加工図を示します。(外観右側に電気錠システムが取付く場合は、本図と左右対称となります。)



■取付け順序

■1 枠の取付け

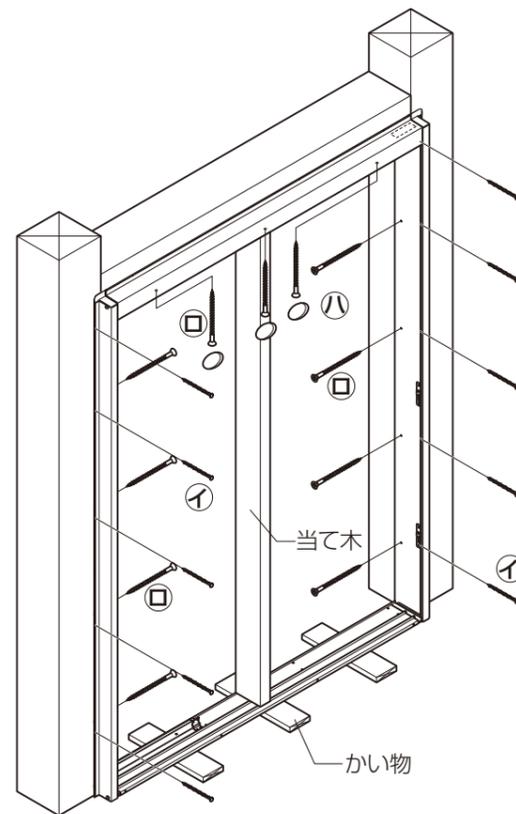
①開口部の水平・垂直を確認し、
枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・
たおれ・ゆがみを直した後、本
固定します。

※下枠はかい物・当て木などをして
水平を出し、モルタルの充て
んによりくずれが出ないように
してください。かい物を入れる
際は、下枠に当たらないように
してください。

※仮取付け時にも下枠にかい物、
当て木をして水平を出してくだ
さい。障子を建込んだ際に下枠
が垂れてしまい、障子が下枠に
当たりキズが付くおそれがあり
ます。



■2 障子の建込み

※障子を建込む前に袖を取付けてください。袖の取付けは、「袖 取付け説明書」をご覧ください。

●障子を建込む際は、中障子から建込んでください。

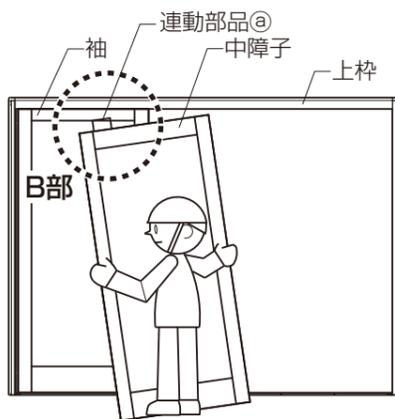
■中障子の建込み

●連動機構のため、中障子を建込む際は、中障子上棧に
取付いている連動部品③と上枠に取付いている連動
部品④を連結させる必要があります。

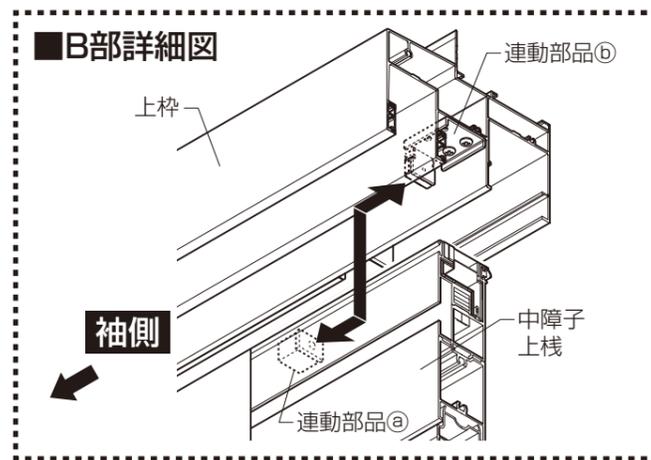
①中障子の上棧に取付いている連動部品③を袖側(製品
がRの場合外観左、製品がLの場合外観右)いっばいに
寄せる。(B部)

②中障子を建込む際に、連動部品③が連動部品④より
袖側になるように建込んでください。(B部詳細図)

③建込み後、中障子を閉め方向に動かしてください。
その際に「カチャッ」と音がします。この音は連動機
構のセッティングが完了した合図になります。



【外観図】製品がRの場合



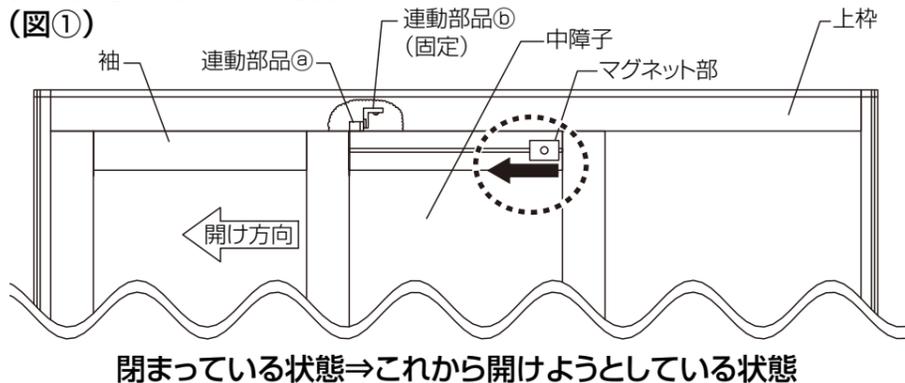
【連動機構確認方法】

中障子を建込んだ後、中障子を開け方向に動かした際、内のマグネット部が連動して開け方向に移動することを確認してください。(図①)

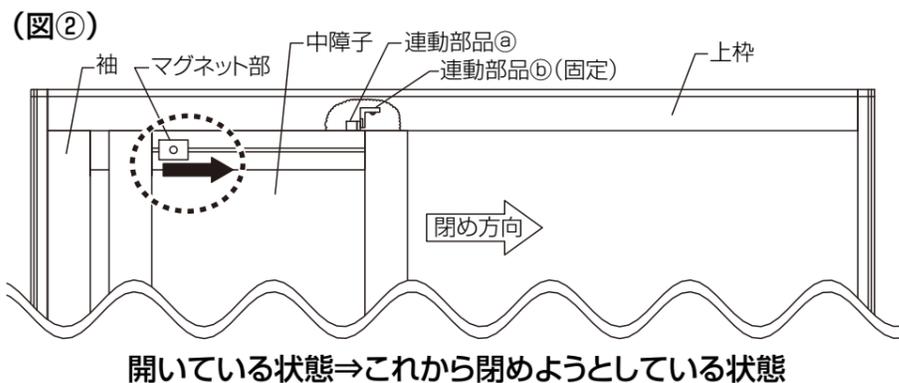
また中障子を閉め方向に動かした場合、マグネット部は連動して閉め方向に移動します。(図②)

マグネット部が連動して動かない場合は、連動機構のセッティングが完了していないことが考えられますので【中障子の建込み】を参照の上、再度建込みしてください。

【外観図】製品がRの場合



閉まっている状態⇒これから開けようとしている状態



開いている状態⇒これから閉めようとしている状態

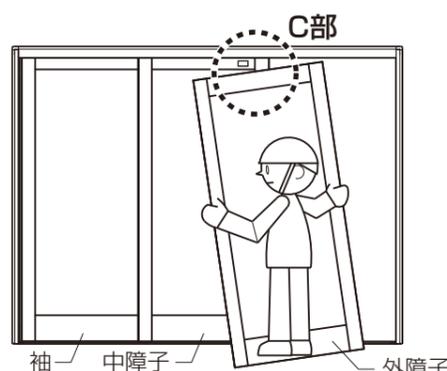
■外障子の建込み

●外障子を建込む際に、中障子を閉め方向に動かしておいてください。

①中障子のマグネット部が外障子の中心辺り(C部)になるように外障子を建込んでください。

②建込み後、外障子を閉め方向に動かしてください。その際に「カチャッ」と音がします。

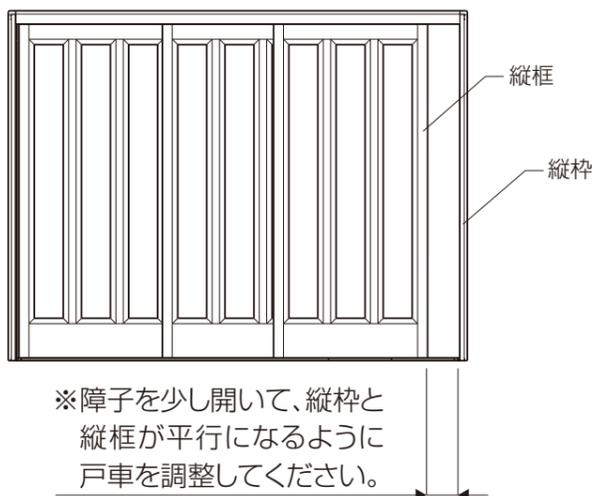
この音は連動機構のセッティングが完了した合図になります。



【外観図】製品がRの場合

3 障子の建付け調整(戸車の調整)

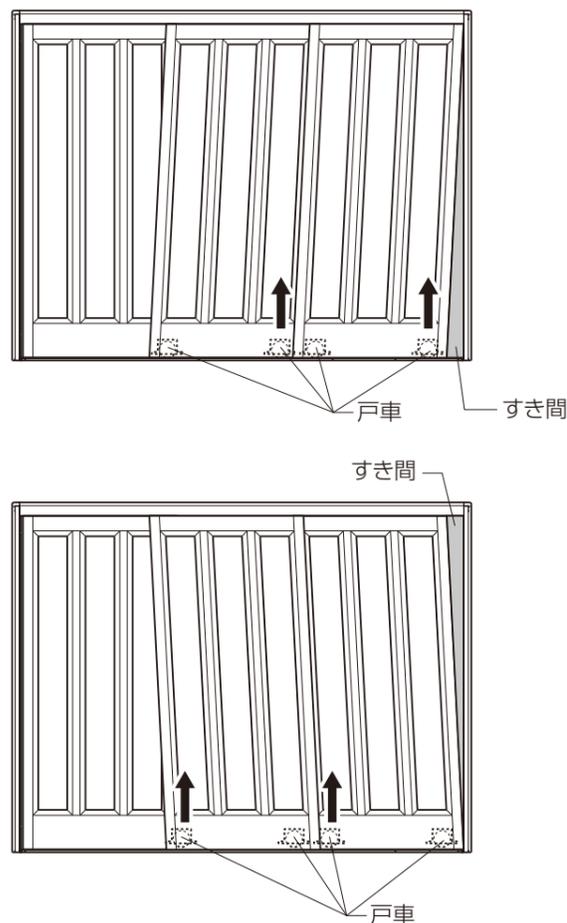
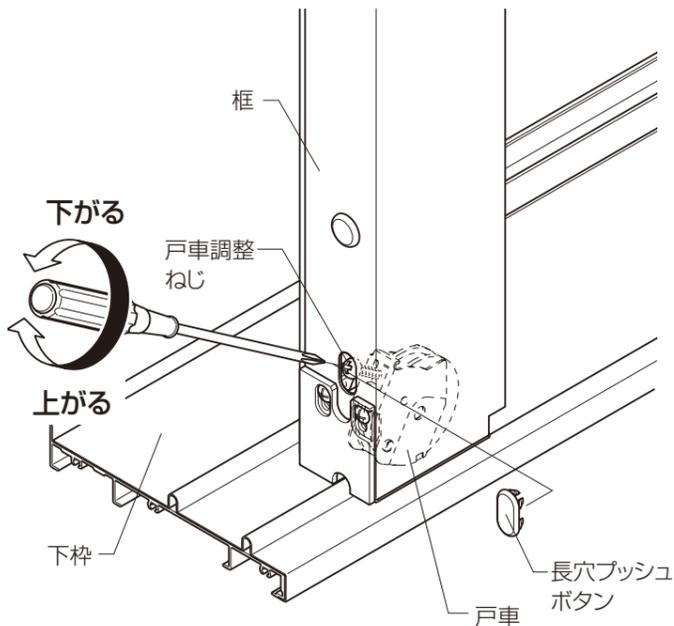
※戸車は、障子をもっとも下がった状態になるようにセットされています。
(戸車調整幅：上方向に約5mm)



■戸車の調整

●障子の納まりが悪い(縦枠と縦框が平行でない)場合は、戸車調整ねじを回して障子の傾き・ズレを直し、縦枠と縦框が平行になるように調整してください。
(戸車調整幅：上方向に約5mm)

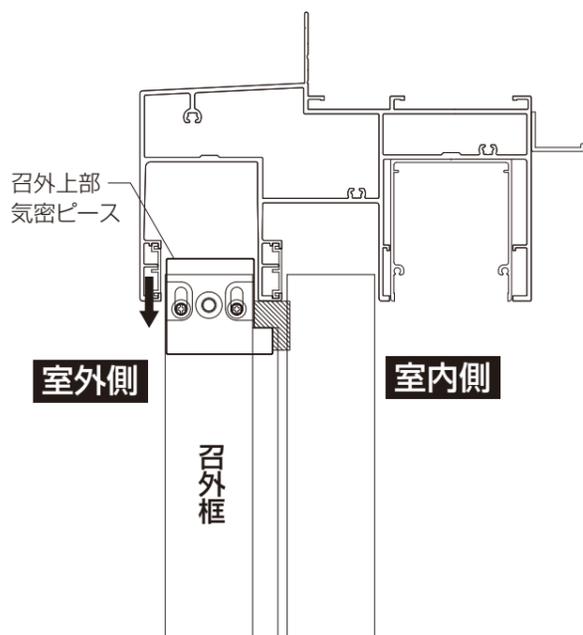
※調整する前に押しボタンの形状をご確認ください。
長穴押しボタンの場合、斜めからドライバーを差込んで調整します。



4 召合気密ピースの調整(召外)

●障子を閉めた状態で気密ピース取付けねじをドライバーでゆるめて、ヒレが図のように当たる設定となるように調整してください。
※調整箇所は外障子、中障子となります。

●召外上部気密ピースの調整



●召外下部気密ピースの調整

